DESIGN WITHOUT LIMITS™

WHAT'S NEW 2022

Vectorworks 2022へようこそ。優れたデザインには優れたツールが必要になるため、私たちは常にデザインを意識しています。Vectorworksの最新バージョンでは、ワークフローを高速化するための新しい方法や、より良いデザインを実現するための先進的な技術を提供しています。ソフトウエアがクリエイティブなプロセスを邪魔することなく、独自のデザインビジョンを自由に展開することができます。

Vectorworksをリリースするたびに、自由にワークフローを決められるように、より使いやすくなるように改善し続けています。使いやすさを向上させ、ソフトウエアを最新化することで、全体的なパフォーマンスを向上させ、プロセスを高速化しています。グラフィックスの向上、ユーザーインターフェイスの強化、レンダリング速度の向上など、新バージョンには、クリエイティブな表現と最大限の効率性を両立させるツールが満載です。Vectorworks 2022を使えば、あなたのアイデアがどこまでも広がっていくでしょう。

2022

PRODUCT KEY

- F FUNDAMENTALS
- A ARCHITECT
- L LANDMARK
- S SPOTLIGHT
- D DESIGN SUITE

色が付いた製品は、該当する機能がその製品に含まれていることを表しています。

WHAT'S NEW 2022

目次

01 次世代技術 04

次世代技術 06
Redshiftレンダリングモード 08
Twinmotionダイレクトリンク 09
ユーザーインターフェイスの改良 10
面ごとのテクスチャ割り当て 11

02 3DとBIMワークフロー 12

階段の直接編集 14
壁構成要素のコントロール 16
ワークシートの拡張 17

03 相互運用性 18

Civil 3D DWGファイルの対応 20
GISとBIMのファイル交換 21

04 ランドスケープとGIS 22

植栽の根域 24
地形モデルの構成要素 25
ArcGIS フィーチャ レイヤー 26
樹木調査データのGIS対応 27

05

エンタテインメント 28

全般的なSpotlightの改善 30

ケーブルと電力計画 31

ソフトグッズのアップデート 32

強化された概略図 33

トラスマグネット 33

2022
主な新機能一覧 34

動作環境 36

01 プロセスを最新に保つ次世代技術

Vectorworksは、技術の進歩に合わせて確実に進化し、継続的に真の価値を提供するソフトウエアが必要不可欠であると考えています。

これが我々がユーザーインターフェイスとユーザー体験の強化と簡素化をし続ける理由です。Vectorworks 2022では、コアテクノロジーとインターフェイスの主な開発領域として、「UI/UX」「グラフィックスの最新化」「品質とパフォーマンス」に焦点を当てています。

これらの分野では、お客様がVectorworks製品をより速く、より直感的に使えるようにすると同時に、最大限の効率化のために必要な安定性と精確性を提供することを目指しています。

ASIAN INSTITUTE OF CHARTERED BANKS | COURTESY OF
GDP ARCHITECTS SDN BHD AND ADAPTUS DESIGN SYSTEM SDN BHD

Microsoft
DirectX
Apple
Silicon

最先端のソフトウエアであるための
次世代技術

Vectorworks 2022は、最新のAppleシリコンプロセッサ上でネイティブに動作するため、Macユーザーにスピードとパフォーマンスの向上をもたらすとともに、Vectorworksのコアテクノロジーが、将来的な再エンジニアリング計画や優先事項に対応できるようにしています。

最新化の一環として、Vectorworksの重要な部分を強化し、Vectorworks Graphics Module (VGM) の技術をハードウエアに合わせて構築しています。MacではMetal、WindowsではDirectXに対応しています。ファイルパフォーマンスの向上に利用可能な最も堅牢なテクノロジーを活用することになります。

F A L S D

時間を節約する
Redshiftレンダリングモード

すべてのデザイナーは、デザインにかかる時間を最大限に活用したいと考えています。Vectorworks 2022では、Maxon社とのパートナーシップにより、新しいGPUアクセラレーションレンダリングモード「RedshIft」を導入しています。RedshIftは、光源、反射、ボリュームライト効果、カメラエフェクト、アンチエイリアスなどの機能を使用して、デザインを犠牲にすることなくレンダリングパフォーマンスを向上します。

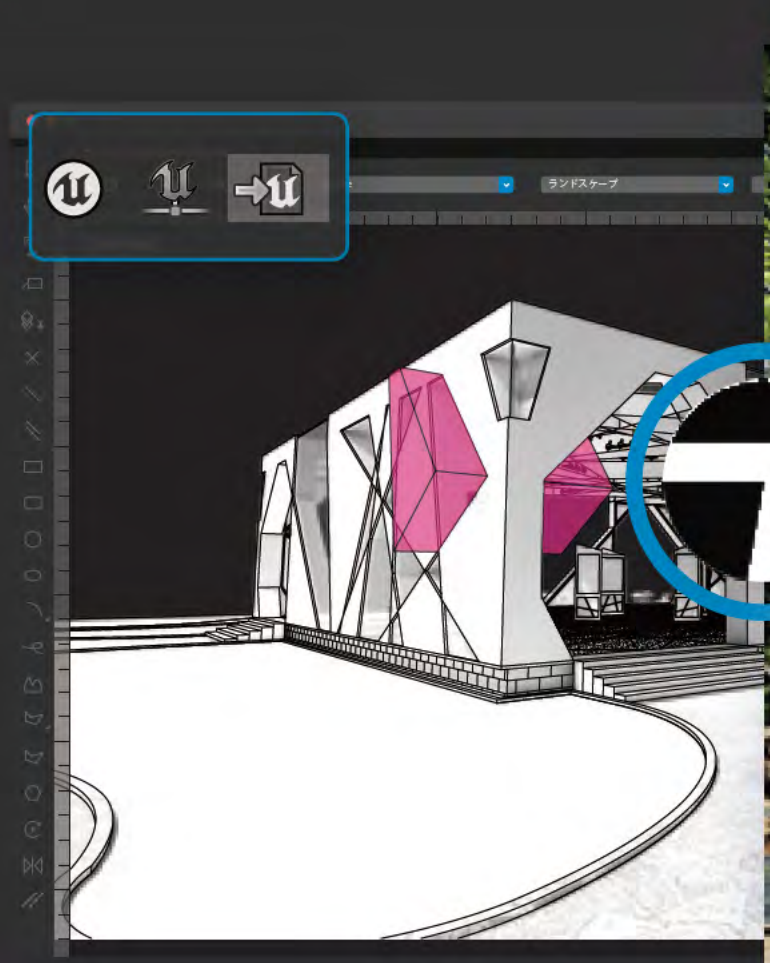
F A L S D

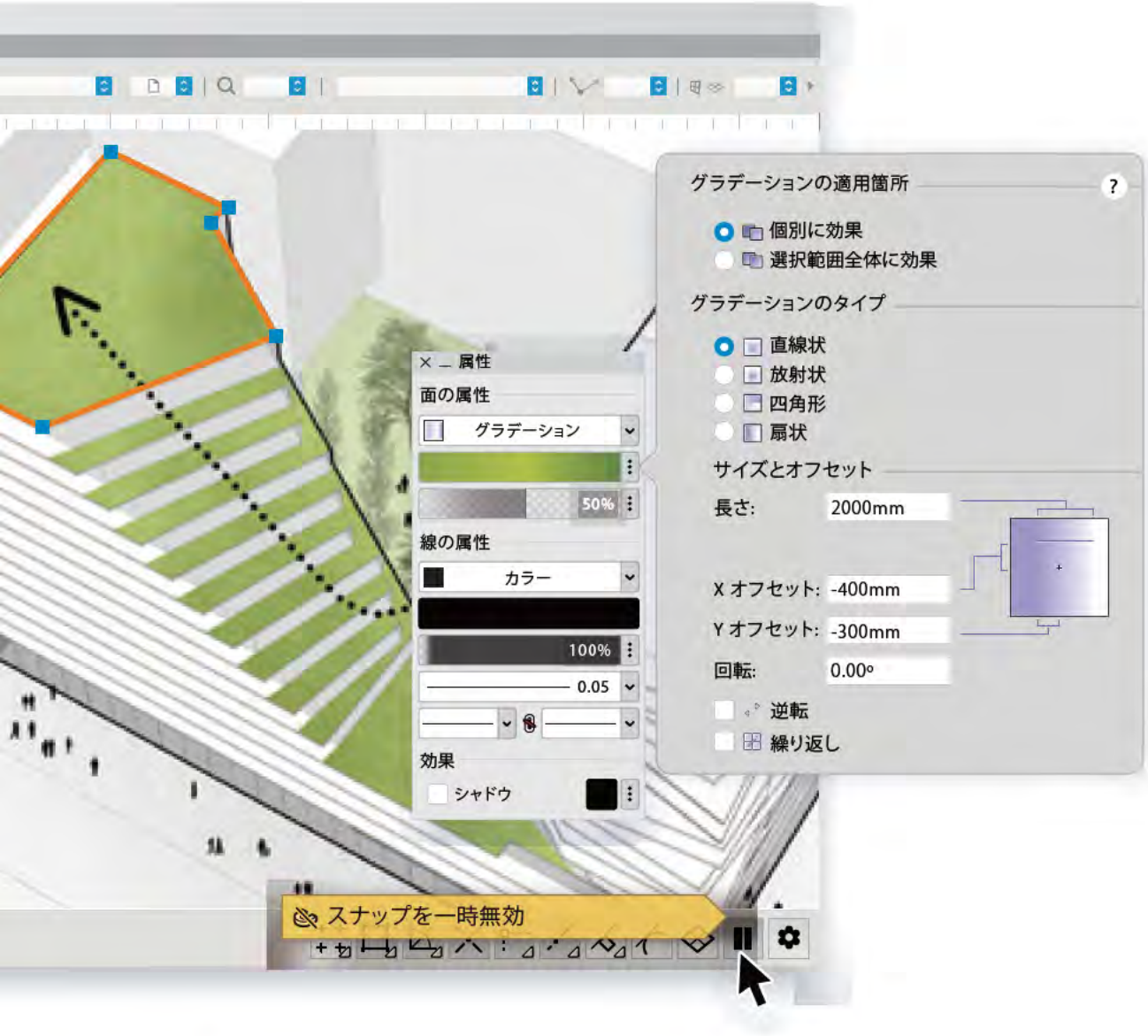
同期レンダリングを最大限活用する

Twinmotionダイレクトリンク

Vectorworks 2022では、モデルとTwinmotionを直接リンクする機能を導入したことにより、Vectorworksで変更した内容をリンク先のファイルに簡単に反映できます。取り出しと取り込みにおける途中のステップを省略することで、時間を節約し、必要なジオメトリの品質を簡単にコントロールできます。

F A L S D





デザイン体験を向上する
ユーザーインターフェイスの改良

ユーザーのVectorworks体験を向上するための継続的な取り組みは、Vectorworks 2022における最新のインターフェイスの改良にも反映されています。属性パレットのモダン化により、より効率的なレイアウトでワークスペースを整理できるようになりました。

また、新しいインターフェイスでは、精確で即時性のあるビジュアルプレビューを提供します。さらに、アプリケーションウィンドウの右下には、新しいステータスバーが導入されています。これにより、スマートカーソルの設定、スナップオプション、スナップのオン/オフの切り替えなどに素早くアクセスできるようになります。

F A L S D

デザインのカスタマイズ性を高める

面ごとのテクスチャ割り当て

テクスチャ割り当てワークフローのアップグレードにより、1つのソリッドモデルの異なる面にテクスチャをマッピングし、大きさを変更する機能などが追加されました。自由にカスタムオブジェクトを作成できるこの効率的でより知覚的な方法により、テクスチャ割り当てにかかる時間を短縮できます。さらに、オブジェクト情報パレットのレンダータブが刷新され、オブジェクトのさまざまな面のテクスチャを簡単に表示・管理できるようになりました。この機能はパラメトリックオブジェクトには適用できません。

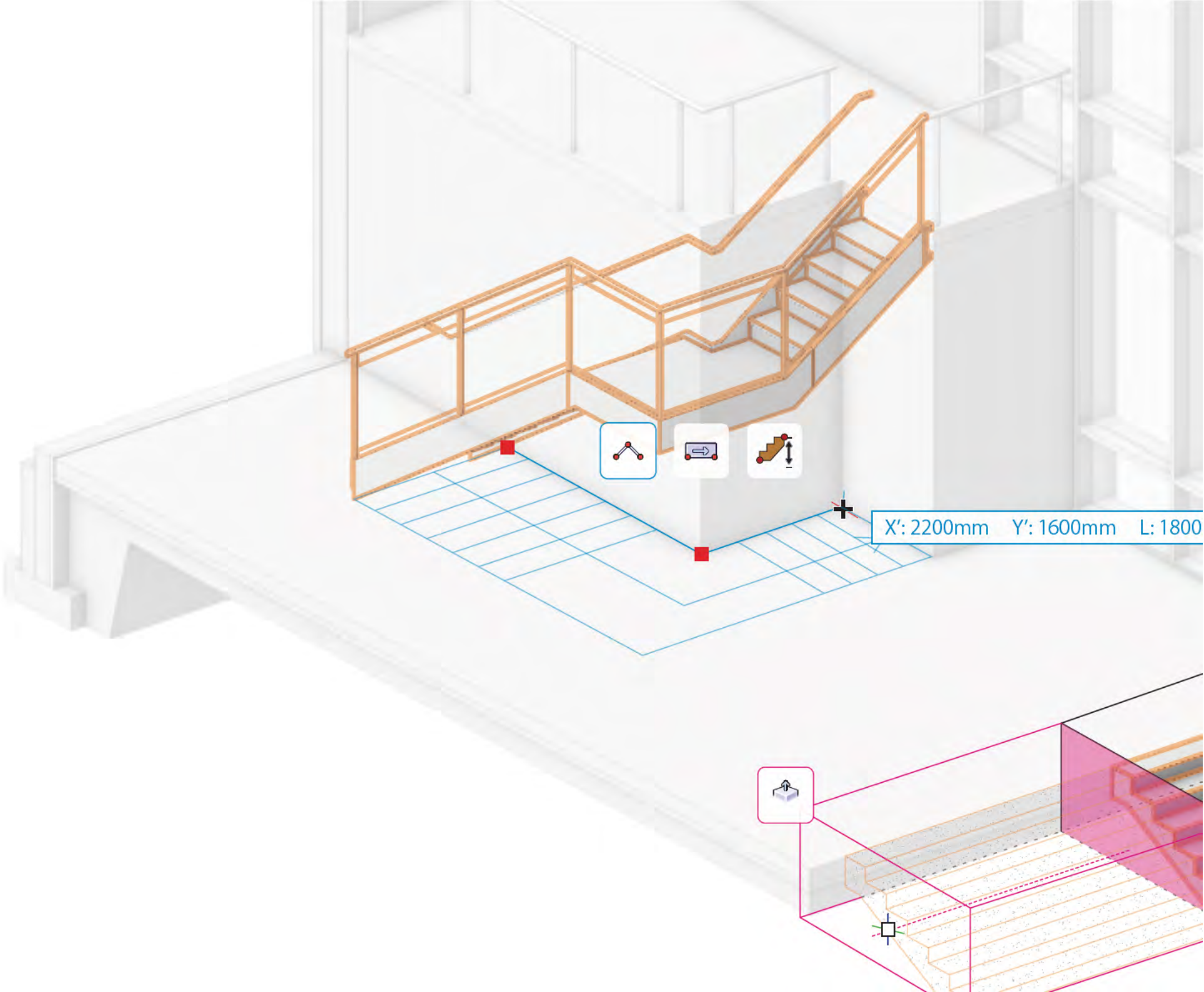
F A L S D

02 3DとBIMワークフロー

デザインソフトウエアは、あなたの想像力に追従する自由を提供すると同時に、最大限の効率性と精確性のためのプラットフォームを提供する必要があります。Vectorworks 2022では、ユーザーの3DおよびBIMワークフローのサポートをさらに進化させています。

Vectorworks 2022では、精確なBIMモデルの作成をサポートするために、中核となる建築オブジェクトやデータレポートの再設計と最新化に引き続き焦点を当て、3Dモデルとそれに対応するデータの両方において、より高い精度、制御、および精確さを実現するための改善したワークフローを提供しています。

ASIAN INSTITUTE OF CHARTERED BANKS | COURTESY OF
GDP ARCHITECTS SDN BHD AND ADAPTUS DESIGN SYSTEM SDN BHD

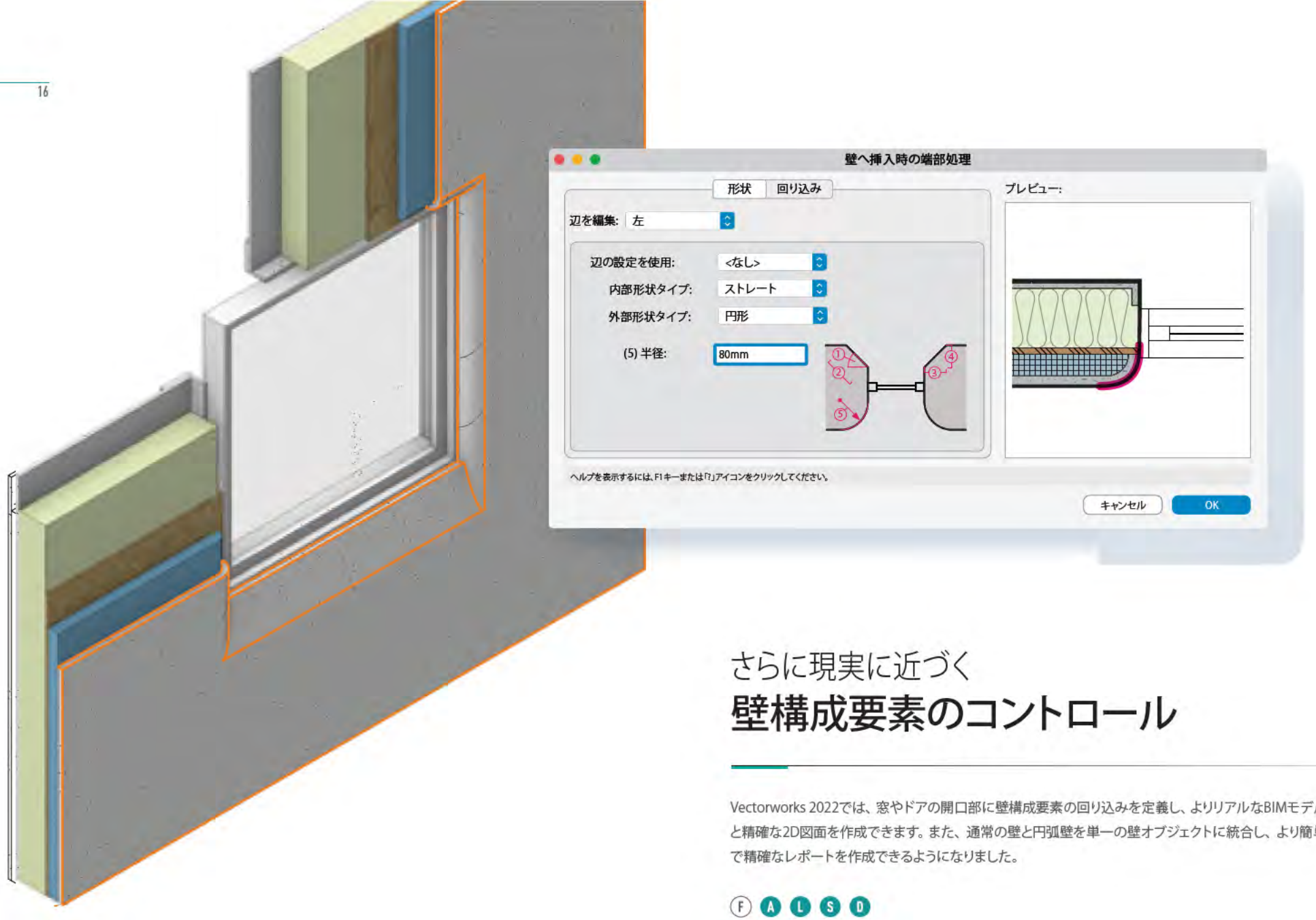

X': 2200mm Y': 1600mm L: 1800

段差を解消できる

階段の直接編集

階段の複雑な設定は過去のものになります。階段のプラグインオブジェクトが強化され、2Dと3Dの両方のビューでインタラクティブな配置と変形が可能になりました。四角形と多角形の新しい作成モードを使えば、距離を測ることなく、壁の間や床の開口部に沿って階段を簡単に配置できます。長方形やパスを描くだけで、階段オブジェクトが配置されます。改良された変形ツールでは、ダイアログボックスを開くことなく、階段の辺の長さ、幅、全体の高さを設定できます。もちろん、コントロールポイントを使って階段を伸ばしたり縮めたりして、空間内の長さや曲率を変えることもできます。

F A L S D



さらに現実に近づく

壁構成要素のコントロール

Vectorworks 2022では、窓やドアの開口部に壁構成要素の回り込みを定義し、よりリアルなBIMモデルと精確な2D図面を作成できます。また、通常の壁と円弧壁を単一の壁オブジェクトに統合し、より簡単で精確なレポートを作成できるようになりました。

F A L S D

スマートなレポートでプロジェクトの本質を見抜く

ワークシートの拡張

精確なBIMモデルを作成することは、詳細なレポートや一覧表を作成することにつながります。Vectorworks 2022のワークシートの機能強化により、それが可能になりました。インターフェイスの改善により、複雑な対象オブジェクトのレポート、一覧表、材料の拾い出しの生成が容易になりました。

また、ワークシートを簡素化し、複雑なモデルのレポートをより豊かにするためのビジュアルフィードバックを追加しました。再設計された条件ダイアログ、新しい検索機能のインターフェイス、新機能により改良された数式バーによって、ドキュメントと格闘する時間を無駄にせず、BIMモデリングのための時間を確保できます。

F A L S D

03 相互運用性

Vectorworksの大きな強みとして、サポートするファイルフォーマットの種類の多さがあります。Vectorworks 2022では、設計プロセスの中でプロジェクトの情報交換に使用される一般的なファイルフォーマットのサポート改善に注力してきました。

私たちはデザインハブであることに誇りを持っています。最も使用されているファイルフォーマットの最適化、付加価値のあるパートナー製品のサポート、そしてプロジェクトチームとBIMコラボレーションが比類ないものであるために努力し続けることを目標としています。

ITALIELAAN HAARLEM | COURTESY OF
HEREN 5 ARCHITECTEN AND LUUK KRAMER

ファイル取り込みを向上する

Civil 3D DWGファイルの対応

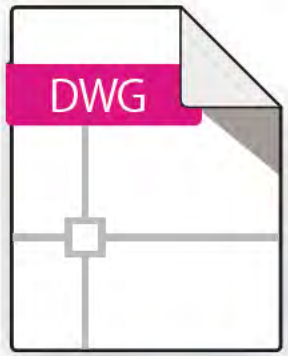
Civil 3Dファイルの取り込み対応により、時間を節約し、煩わしさを解消します。最新のリリースでは、Civil 3Dオブジェクトを表示するために、特別に取り出したDWGファイルを用意する必要がなくなりました。取り込んだオブジェクトは、必要なジオメトリを含むそれぞれのグループ図形になります。社内外の土木技術者とのやりとりが、よりダイレクトに、より少ないリスクでデータに反映されます。

F A L S D

GISとBIMのファイル交換

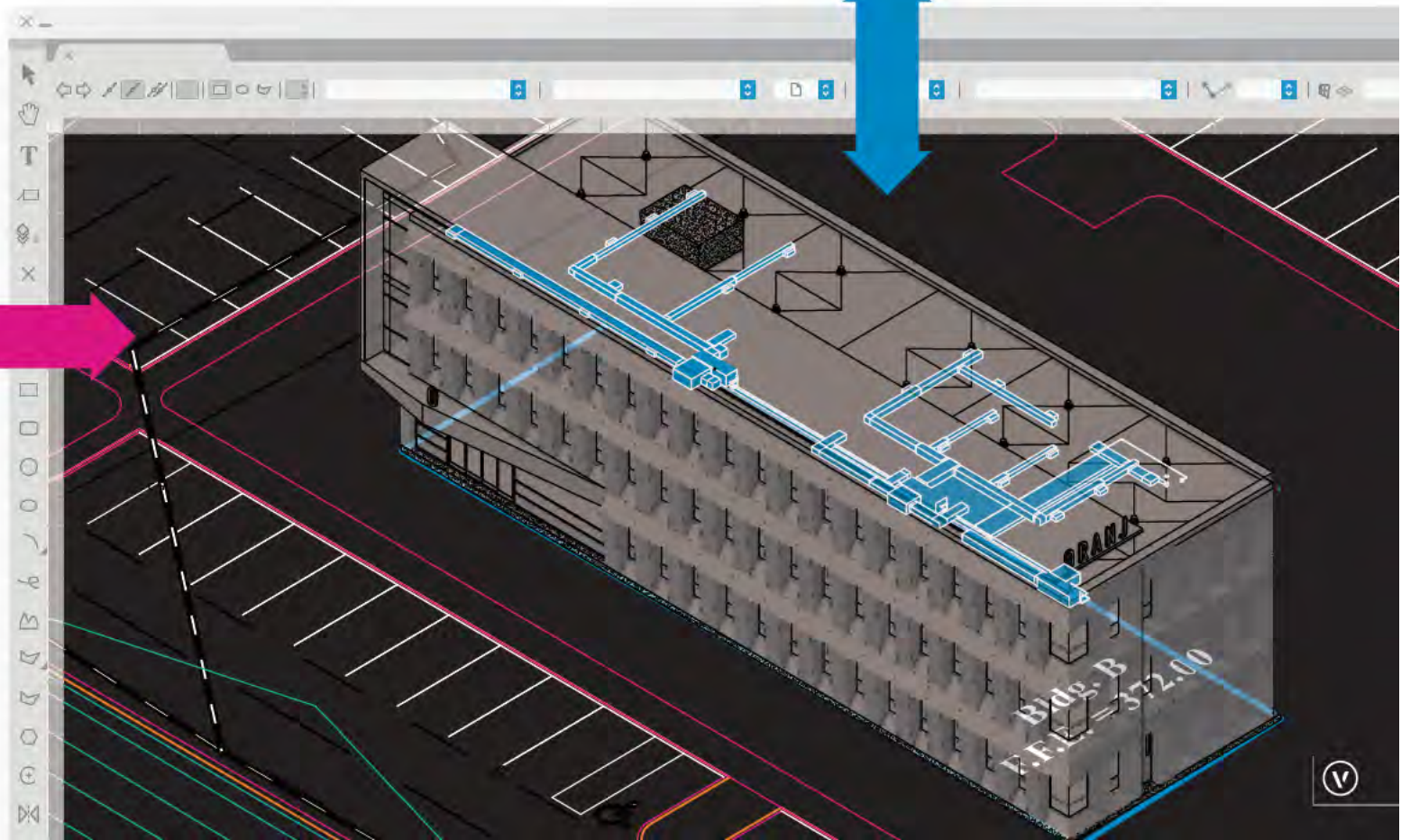
Vectorworksでは、DWGファイル、画像、IFCファイルに埋め込まれたジオリファレンスデータを読み取ることができるようになり、地理空間情報を失うことなくファイルを取り込み／取り出しできるようになりました。プロジェクトでDWGファイルやIFCファイルをやり取りする際に、互換性の向上と信頼性の向上を実感できます。

F A L S D



Current EPSG: 6488
CRS Name: NAD83(2011) / Maryland (ftUS)
Units: US survey foot

Current EPSG: 6488
CRS Name: NAD83(2011) / Maryland (ftUS)
Units: US survey foot



04 ランドスケープとGIS

ランドスケープデザインに特化したツールであるVectorworks Landmarkは、ランドスケープ業界にBIMを導入する際の複雑な学習曲線を簡略化する方法を提供し、ランドスケープのためのBIMプラットフォームとして選ばれ続けています。

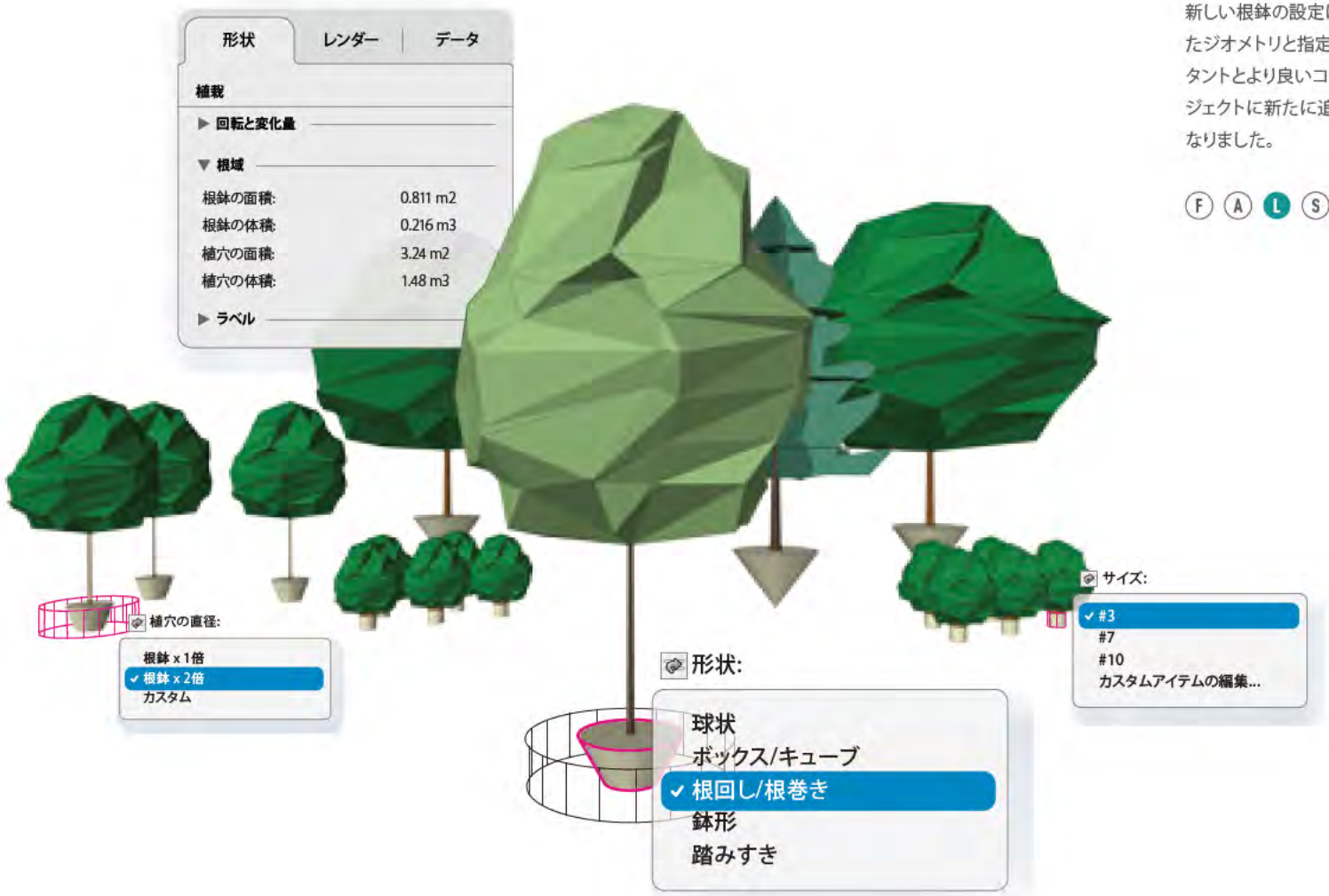
今後は、ランドスケープBIMモデルの作成をより簡単にし、持続可能な開発要求をサポートすることで、ランドスケープBIMとGISワークフローの緊密な統合を実現することに焦点を当てた開発をしていきます。

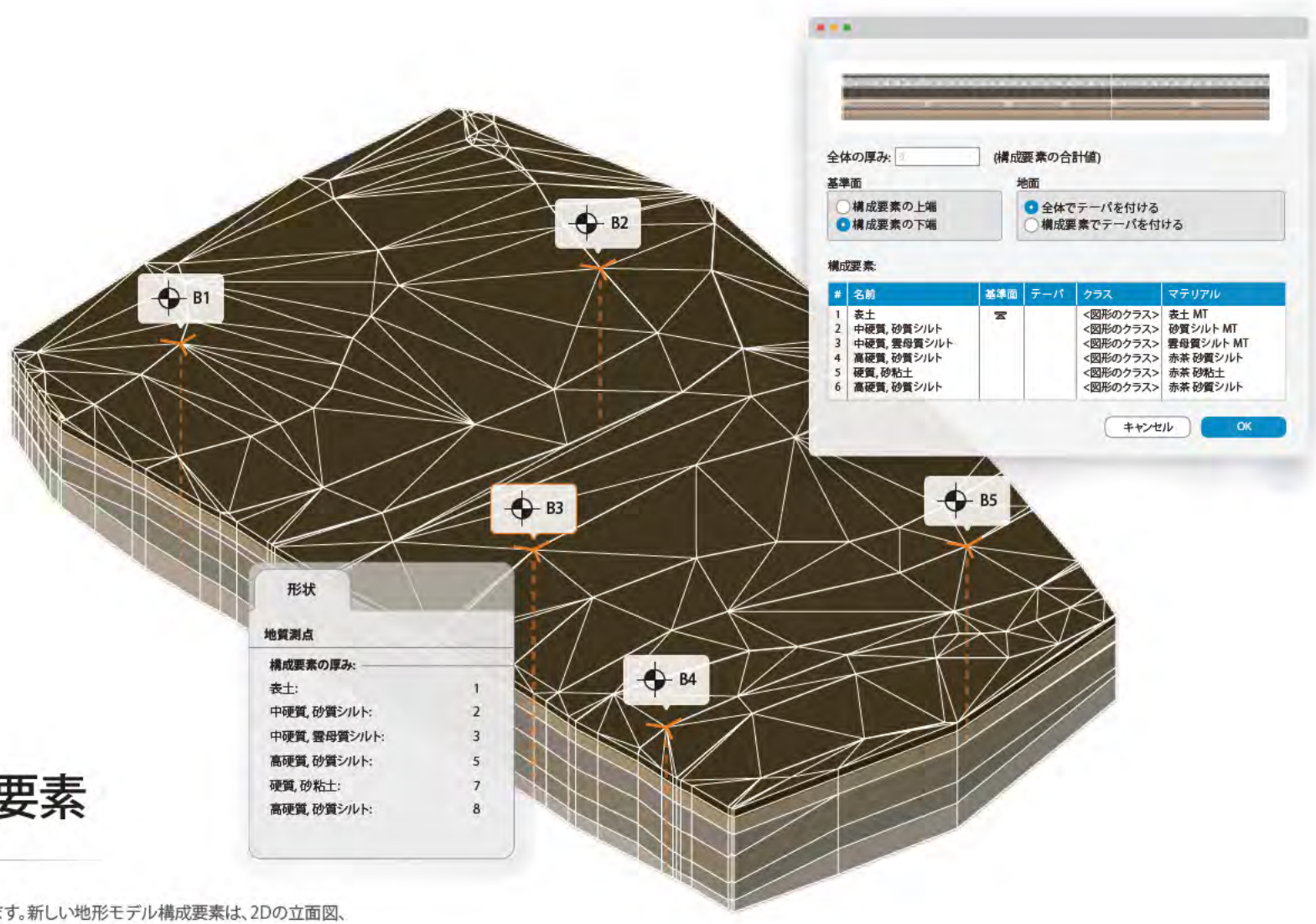
VANCOUVER CONVENTION CENTRE EXPANSION | COURTESY OF PWL PARTNERSHIP LANDSCAPE ARCHITECTS INC.

植栽の根域

新しい根鉢の設定により、地下も含めた植栽を表現できます。植物の根鉢用に追加されたジオメトリと指定データは、ランドスケープBIMのワークフローを完成させ、コンサルタントとより良いコラボレーションを行うために必要な重要情報を提供します。植栽オブジェクトに新たに追加された機能により、根鉢と植穴範囲の2Dおよび3D表現が可能になりました。

F A L S D



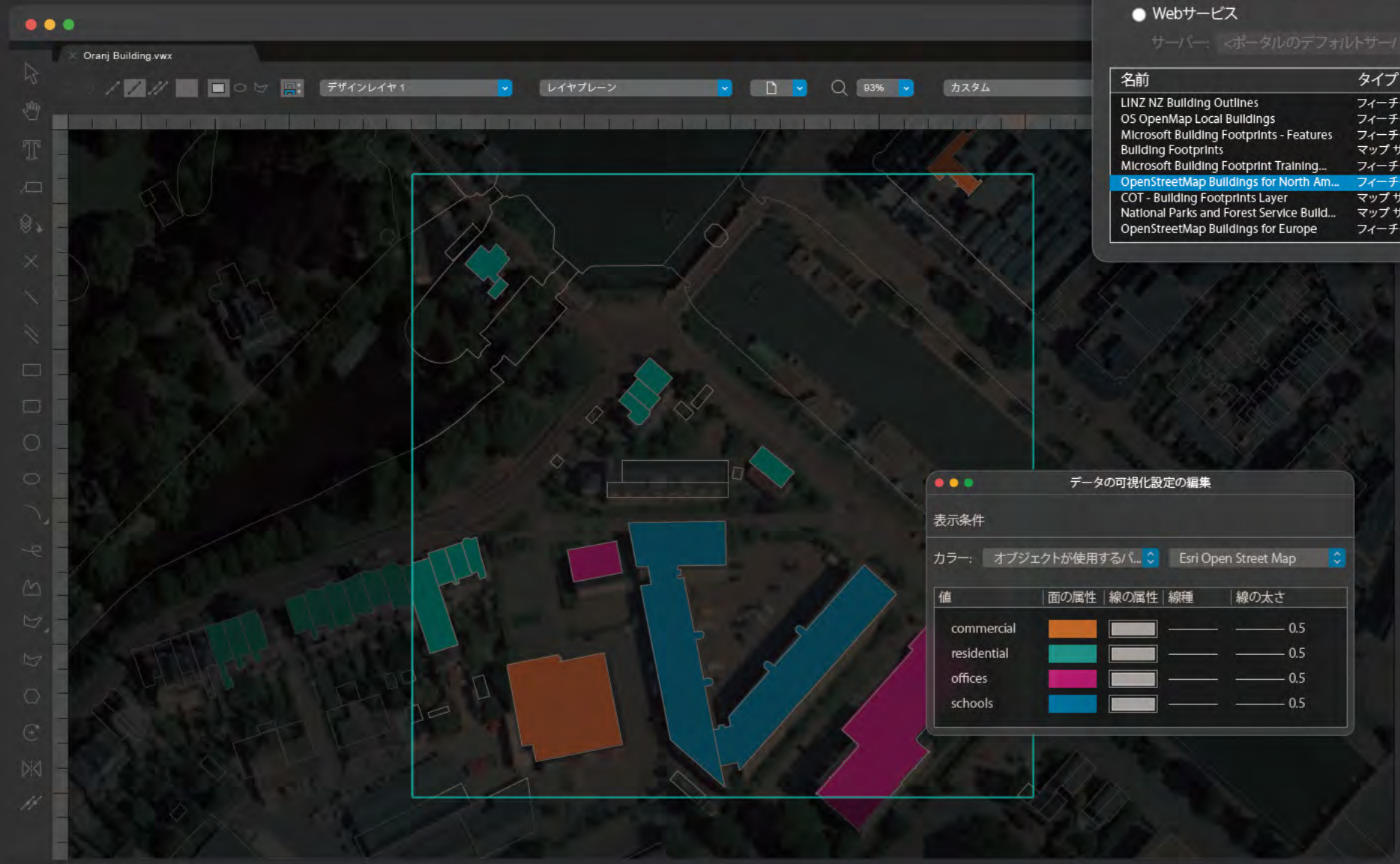


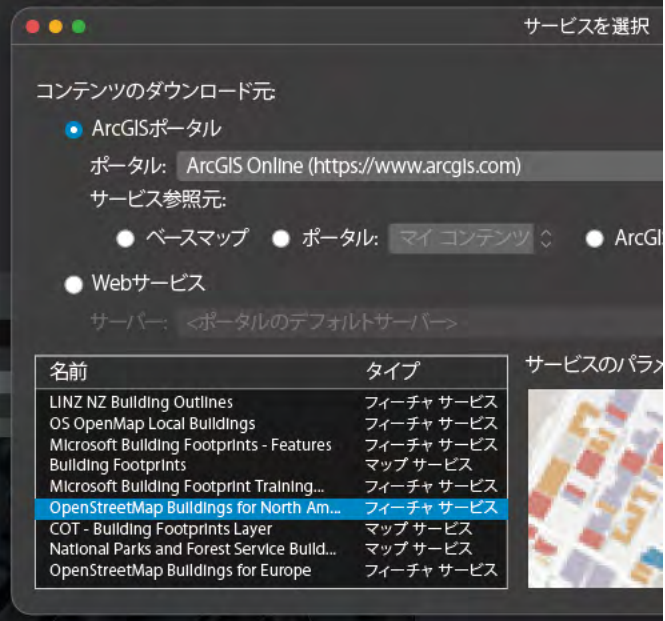
多層化の改善

地形モデルの構成要素

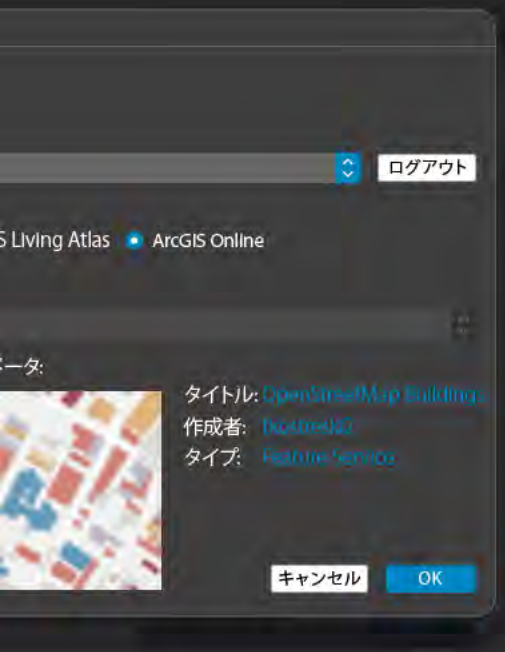
地下の地層を地形モデルの構成要素として定義できます。新しい地形モデル構成要素は、2Dの立面図、断面図、テクスチャ付き3Dビューで精確に表現できるソリッドジオメトリを作成します。地層の固定または可変の厚さにも対応し、精確なBIMモデルを作成できます。

F A L S D


Oranj Building.vwx
デザインレイヤ 1
レイヤプレーン
93%
カスタム


サービスを選択
コンテンツのダウンロード元:
ArcGISポータル
ポータル: ArcGIS Online (https://www.arcgis.com)
サービス参照元:
ベースマップ
ポータル:
マイ コンテンツ
Webサービス
サーバー: <ポータルのデフォルトサーバー>
名前
タイプ
LINZ NZ Building Outlines フィーチャ サービス
OS OpenMap Local Buildings フィーチャ サービス
Microsoft Building Footprints - Features フィーチャ サービス
Building Footprints マップ サービス
Microsoft Building Footprint Training... フィーチャ サービス
OpenStreetMap Buildings for North Am... フィーチャ サービス
COT - Building Footprints Layer マップ サービス
National Parks and Forest Service Build... マップ サービス
OpenStreetMap Buildings for Europe フィーチャ サービス
サービスのパラメ

データの可視化設定の編集
表示条件
カラー:
オブジェクトが使用するパ...
Esri Open Street Map
値
面の属性
線の属性
線種
線の太さ
commercial 0.5
residential 0.5
offices 0.5
schools 0.5



精確なデータとジオメトリを取り込む
ArcGIS フィーチャ レイヤー

敷地計画とコラボレーションのためのより簡単な統合によって、GIS/BIMワークフローの効率が向上します。Esri社とのパートナーシップにより、Vectorworksのデザインレイヤを使用して、ベクトルジオメトリやデータにアクセス、ダウンロードし、膨大な量の情報を設計に組み込むことができます。また、デザインレイヤからArcGIS フィーチャ レイヤーに戻って取り出しやアップロードができるようになり、従来の方法を超えた特定の地理空間情報の管理や、GIS専門家とのコラボレーションが容易になります。

F A L S D

座標だけではない
樹木調査データのGIS対応

新たにGISに対応し、地理座標系および直交座標系の位置パラメータが組み込まれたため、さまざまな樹木調査タイプを取り込むプロセスが簡素化されています。生物多様性やバイオマスを考慮した既存植生のドキュメント化や、大量の植栽や牧草地などに関連する調査エリアタイプの取り込みに、新しいGIS対応手法を活用できます。

F A L S D

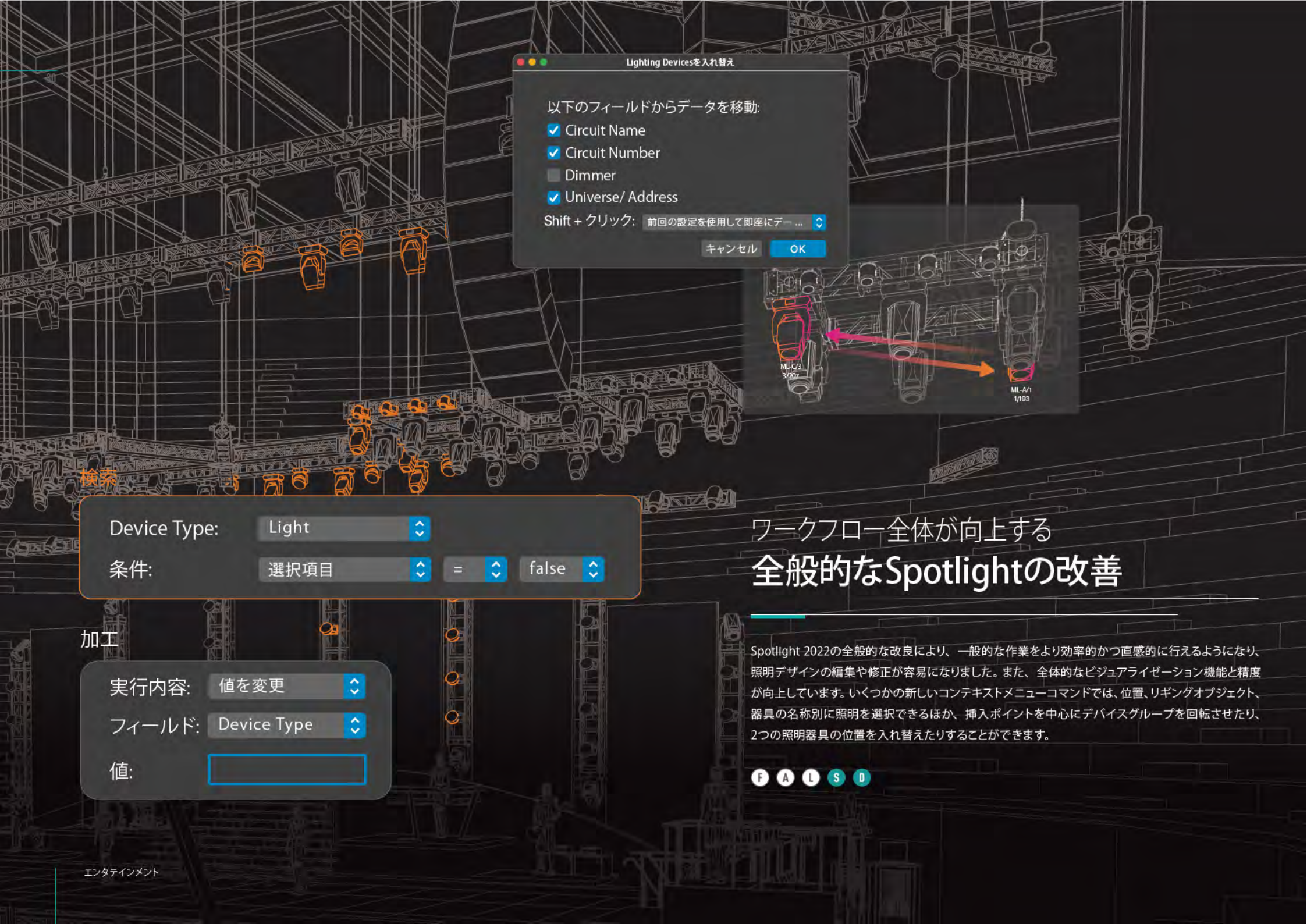
05 エンタテインメント

エンタテインメント業界のユーザーに向けた私たちのコミットメントは、何よりもまず、ファイルのパフォーマンスを向上させるための再設計に注力することです。

より応答性の高いツールを作成しています。また、複数の選択肢があると混乱を招くため、機能を統合しています。エンタテインメント製品のさまざまなツールやコマンド間の動作に一貫性を持たせ、ユーザーのワークフローを簡素化する機能を追加しています。

このような開発の成果は、Vectorworks 2022で行われた多くの優れたパフォーマンス向上とバグ修正に表れています。今後のリリースでもこのような取り組みを継続していきます。

ONE THIRD BEIJING | COURTESY OF LIVE LEGENDS

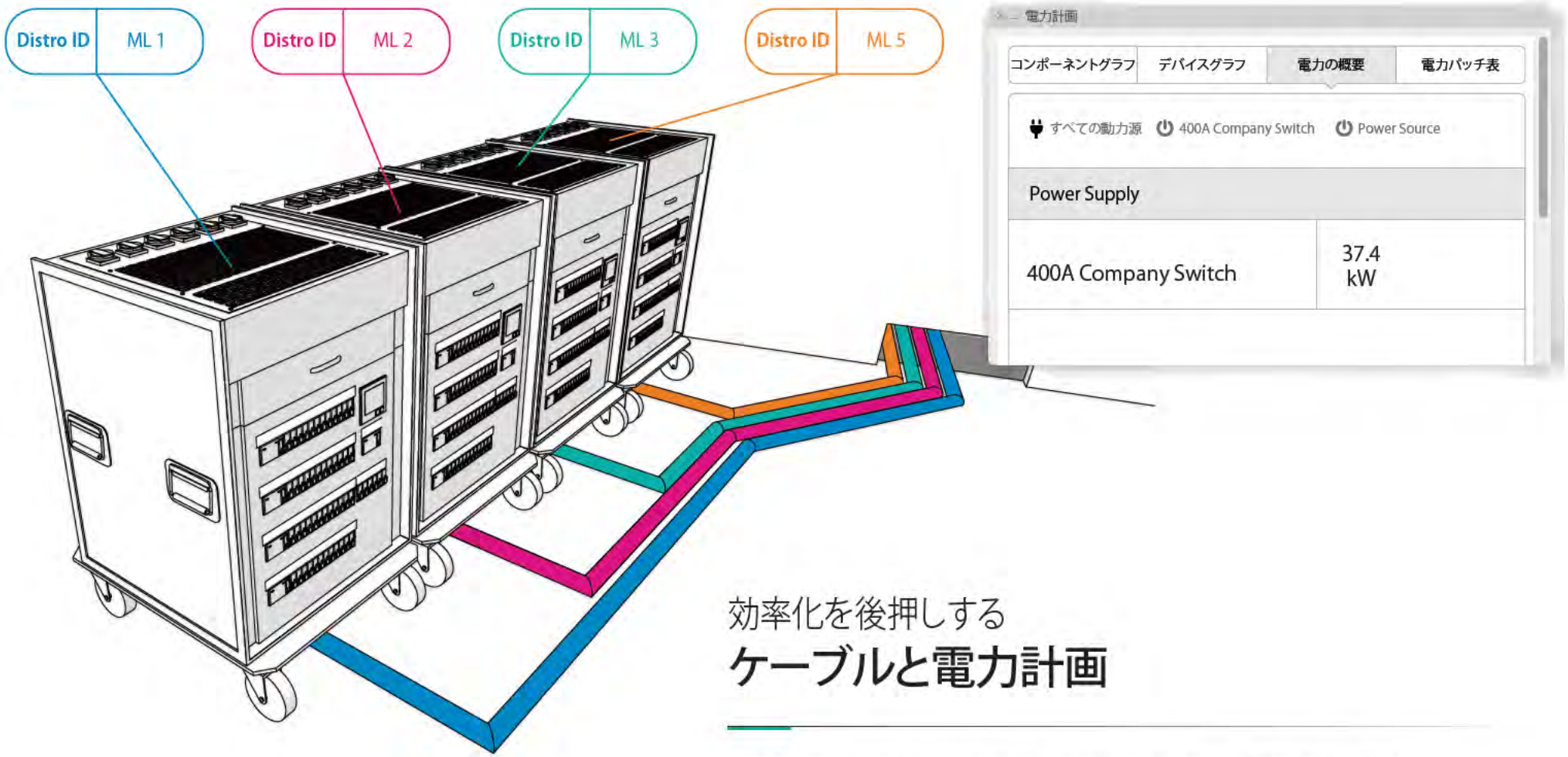


ワークフロー全体が向上する

全般的なSpotlightの改善

Spotlight 2022の全般的な改良により、一般的な作業をより効率的かつ直感的に行えるようになり、照明デザインの編集や修正が容易になりました。また、全体的なビジュアライゼーション機能と精度が向上しています。いくつかの新しいコンテキストメニューコマンドでは、位置、リギングオブジェクト、器具の名称別に照明を選択できるほか、挿入ポイントを中心にデバイスグループを回転させたり、2つの照明器具の位置を入れ替えたりすることができます。

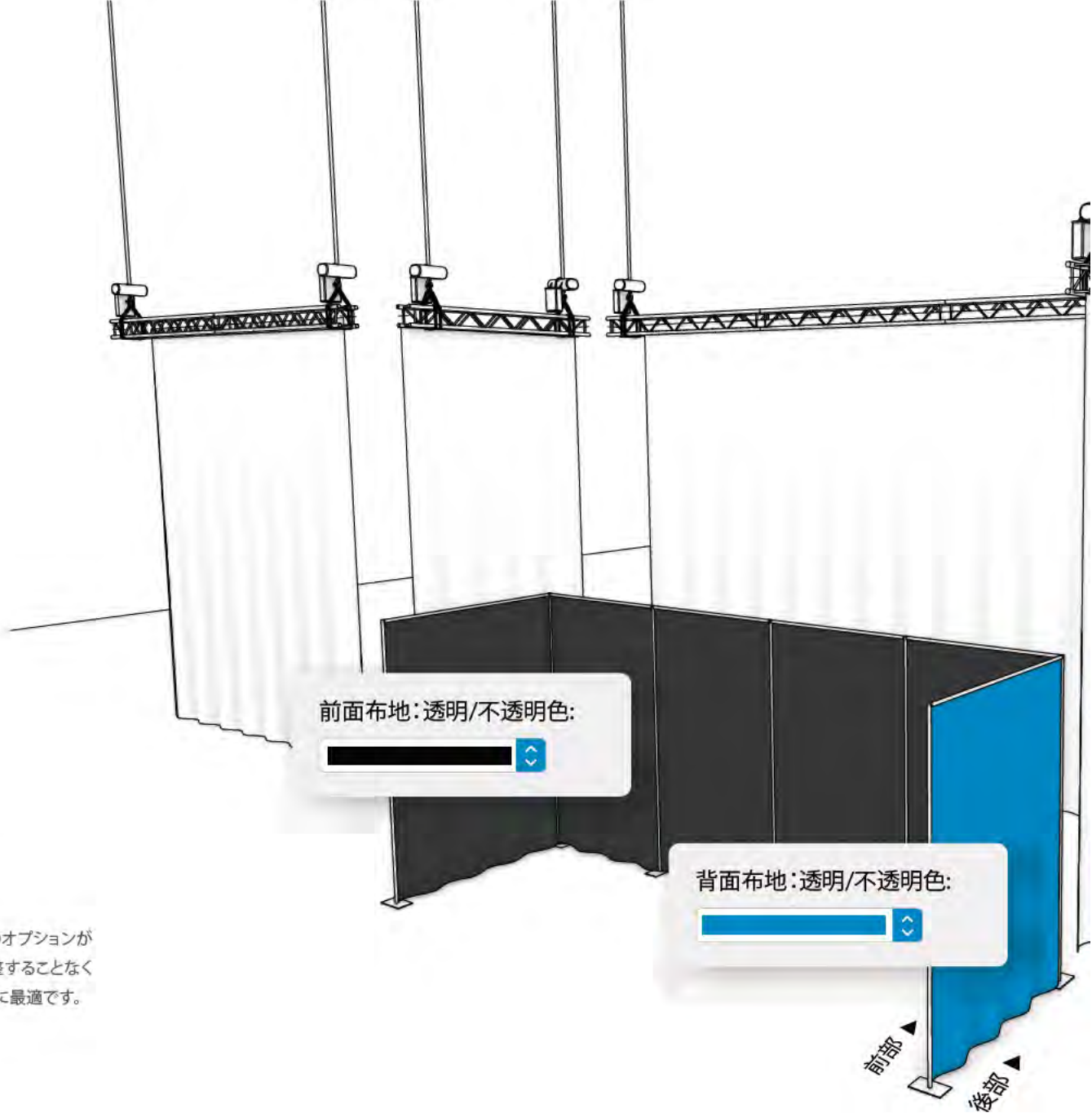
F A L S D



効率化を後押しする
ケーブルと電力計画

SpotlIghtの新しい機能を使うと、ショーやイベントで必要なケーブルや電源を効率的に計画し、図面化できます。サードパーティのソフトウエアを使わずに、ドキュメントやインベントリリストの作成、設営リストや必要な電力負荷のワークシート構築が容易になりました。また、リンクされたオブジェクト間にケーブルを挿入する作業が自動化され、変更が加えられると自動的にケーブルの形状が変更されます。新しいケーブルナビゲーションシステムでは、関連する入力と出力を選択することで、自動的にケーブルを追加できます。

F A L S D

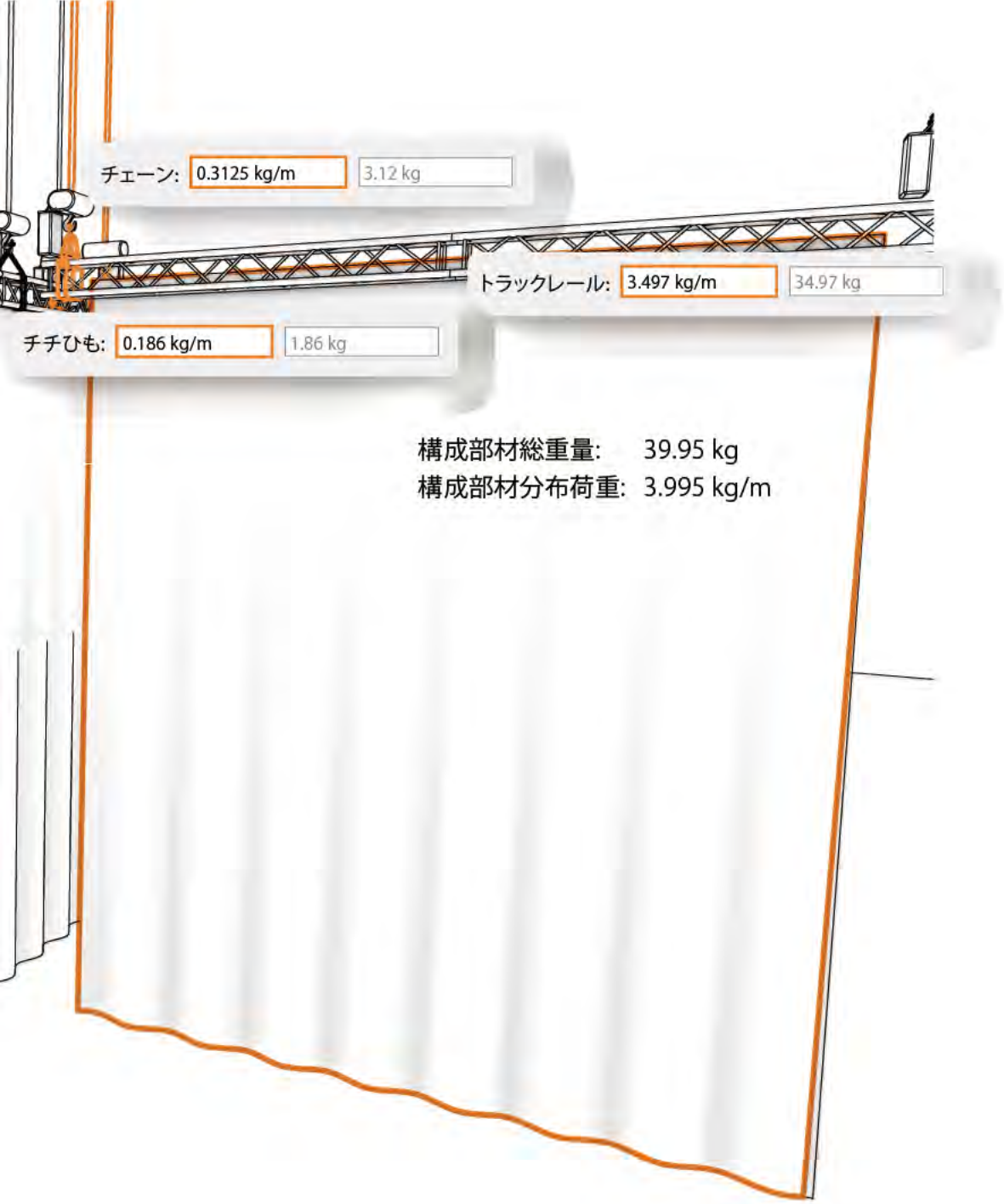


新たな幕開け

ソフトグッズのアップデート

ソフトグッズツールの柔軟性が向上し、台座、支柱、両面ドレープのセットアップなどのオプションが増えました。スタイルに対応したことで、ソフトグッズを挿入した後にパラメータを調整することなく追加できます。また、重量計算のコントロール性が向上したので、解決策が必要な場合に最適です。

F A L S D



強化された
概略図

概略図の操作では、ツールやコマンド間の往復に時間を費やす必要はありません。最新の機能強化により、概略図の配置を選択できるようになり、概略図上や概略図内のオブジェクトの編集も改善されました。オブジェクトのスナップがより論理的になり、オブジェクト情報パレットからオブジェクトのプロパティにも直接アクセスできるようになりました。また、一般的なSpotlightコマンドが概略図でも機能するため、作業に集中できます。

F A L S D

操作と編集がしやすい
トラスマグネット

マグネットを使った最新のトラス接続をご覧ください。この新しいオブジェクトは、トラスシンボル内に配置され、自動連結システムを使用してトラスを結合する際に、より良いコントロールを可能にします。挿入後の編集に頼る必要はもうありません。マグネットは迅速で信頼性の高い接続方法を提供し、最初から常に正しい向きで接続します。

F A L S D

主な新機能一覧

	F FUNDAMENTALS	A ARCHITECT	L LANDMARK	S SPOTLIGHT	D DESIGN SUITE
ArcGIS フィーチャ レイヤー		●	●	●	●
Civil 3D DWGファイルの対応	●	●	●	●	●
CMYKの改善	●	●	●	●	●
Excel取り出し時のイメージ対応	●	●	●	●	●
GISとBIMのファイル交換		●	●	●	●
Landmarkテンプレート			●		●
mtexturをマテリアルとして取り込み	●	●	●	●	●
Redshiftレンダリングモード	●	●	●	●	●
Solibriダイレクト 2.0		●	●		●
Spotlight位置揃えの改善				●	●
Twinmotionダイレクトリンク	●	●	●	●	●
VectorScriptエディタの強化	●	●	●	●	●
隠線レンダリングのノンブロッキング化	●	●	●	●	●
オブジェクト情報パレットに直線オブジェクトの長さを表示	●	●	●	●	●
階段の直接編集		●	●	●	●
壁構成要素のコントロール		●	●	●	●
器具の検索と変更の強化				●	●
基本数量の拾い出し（手摺/フェンス）		●	●		●
基本数量の拾い出し（階段）		●	●	●	●
強化された概略図				●	●
クラス属性に一括割り当て／一括解除	●	●	●	●	●
ケーブルと電力計画				●	●
ジオイメージのEsriタイルレイヤ対応		●	●	●	●
次世代技術	●	●	●	●	●
指定クラスでの寸法作成	●	●	●	●	●
樹木調査データのGIS対応			●		●
初回起動時のユーザーサインイン	●	●	●	●	●
植栽スタイル			●		●

	F FUNDAMENTALS	A ARCHITECT	L LANDMARK	S SPOTLIGHT	D DESIGN SUITE
植栽の根域			●		●
伸縮コマンドの面積設定モード	●	●	●	●	●
シンボルとして取り込み	●	●	●	●	●
スクリーンプレーンと非統合ビューのレガシー化	●	●	●	●	●
スペースの改善		●	●	●	●
スペースの編集オプションダイアログ		●	●	●	●
スペース番号付けの改善		●	●	●	●
全般的なSpotlightの改善				●	●
ソフトグッズのアップデート				●	●
地形モデルの構成要素		●	●		●
直前のコマンドの繰り返し	●	●	●	●	●
データタグのアップデート（Spotlight向け）				●	●
データタグの改善		●	●	●	●
データマネージャの計算式拡張		●	●	●	●
手摺/フェンスツールのオフセットモード		●	●		●
ドア／窓		●	●	●	●
トラスマグネット				●	●
名前一括変更の改善	●	●	●	●	●
プロジェクト共有オブジェクトリスト		●	●	●	●
変形ツールの面積保持モード	●	●	●	●	●
舗床の強化		●	●		●
マリオネットの強化		●	●	●	●
面ごとのテクスチャ割り当て	●	●	●	●	●
ユーザーインターフェイスの改良	●	●	●	●	●
ワークシートの拡張	●	●	●	●	●

動作環境

Vectorworks 2022の動作環境をご案内いたします。お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に起動しない場合があります。
Vectorworksを快適にご使用いただくために、条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお薦めします。

▶ 最新の情報は弊社Webサイトをご確認ください。 https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/vw2022.html

Vectorworks 2022 スタンドアロン版

	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit) ※ 32bit OSは非対応	macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina)

	エントリー	ミドル（推奨）	ハイエンド
目安となるデータの規模	• 2D図面 • 簡単な3Dモデリング	• 詳細な2D図面 • 詳細な3Dのモデリング • 小中規模BIM • レンダリング	• 詳細な2D図面 • 非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング • 大規模BIM • レンダリング
CPU	• 3GHz以上のIntel Core i5 または AMD Ryzen 5 または、それと同等のもの • Apple M シリーズ	• 6コア以上搭載で2GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7、または、それと同等のもの • Apple M シリーズ	• 8コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7 または、 AMD Ryzen 7、または、それと同等のもの
メモリ	8GB以上	16GB以上	32GB以上
グラフィックス	2GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード • Mac : Metal GPUFamily1以上 • Windows : DirectX 11互換	4GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード • Mac : Metal GPUFamily1 v4以上 • Windows : DirectX 11互換	8GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード • Mac : Metal GPUFamily2以上 • Windows : DirectX 11互換
	• CPU内蔵グラフィックスの場合、Iris、Iris Pro/Intel Iris Plusグラフィックスを推奨します。Intel HD Graphics/Intel UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。 • グラフィックカード、または単体グラフィックスを推奨します。 • 過去3年間に販売されていたグラフィックカードを推奨します。 • マルチビューのすべてのウインドウを異なる表示設定で使用する場合、2GB以上のVRAMを搭載したグラフィックカードが必要です。 • 大きなファイル容量の場合は4GB以上のVRAMを推奨します。 • NVIDIA NVSシリーズ/ATI Radeon HD 4550/Intel GMAは動作対象外です。 • Redshiftを利用するレンダリングはRedshift動作環境をご確認ください。 • ドライバーは最新にアップデートしてご使用ください。 • 詳細は各パソコンメーカー、または販売店等へお問い合わせください。		
HDD	ハードディスク空容量 40GB以上（オプションライブラリ30GBを含む） • フラッシュストレージ（SSD）にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。		
画面解像度	推奨1920 x 1080以上（最小1440 x 900） 4K・Retinaディスプレイ対応		
インストール	• 製品版は1ライセンスで1ユーザーが使用している2台のパソコンにインストールできます。ただし同時起動はできません。 • Windows、Macの両プラットフォームに対応しています。 • 起動にはインターネット経由のアクティベーションが必要です。 • インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードしていただきます。ダウンロードができない場合は、別途「Vectorworks 2022 インストールメディア (USB)」¥4,950 (税込) 型番：P27001が必要です。		
その他	• ご使用にあたり製品のユーザー登録が必要です。 • インストール、アクティベーションのためのインターネット接続環境が必要です。 • Vectorworksアカウントの作成、サインインが必要です。 • インターネット接続可能な環境でご利用の場合、Vectorworksアカウントの登録が必要です。 • 日本語OS環境でご利用ください。 • 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 • PDF閲覧のためのPDF閲覧ソフトが必要です。 • ヘルプ閲覧のためのブラウザが必要です。		

※ 記載されている情報は2021年10月現在のものです。

Design without limits™

2021.10

VECTORWORKS, INC.
7150 Riverwood Drive, Columbia, MD 21046-1295 USA
vectorworks.net
T 410.290.5114

エーアンドエー株式会社
www.aanda.co.jp

製品に関するお問い合わせ
エーアンドエー営業部
一般の方：market@aanda.co.jp
販売店　：aa_sl-team@aanda.co.jp

A&Aストア・オンライン
store.aanda.co.jp

©2021 Vectorworks, Inc. All rights reserved.
Vectorworks、RenderworksとMiniCADはVectorworks,Inc.の登録商標です。Braceworks、SmartCursorとVectorScriptはVectorworks,Inc.の商標です。Vision SoftwareとConnectCADはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks,Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、macOS、Metalは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名、および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

A&A Co , Ltd and its l censors All rights reserved Printed in Japan 211018 DI